



情報の経済学と会計

第1回 3つの情報



今回のメニュー

- 3つの「情報」
- 不確実性に対処する手段としての情報
 - 情報による意思決定の改善
- 資源としての情報
 - 財産としての情報の側面
- フローとしての情報
 - 伝達される信号としての情報の側面



情報の一般的な意味

- 「ある事柄に関して伝達（入手）されるデータ（の内容）」（新明解国語辞典第4版）
 - 通常は，送り手・受け手にとって何らかの意味を持つ（形に並んでいる）データを指すが，データの表す意味内容そのものをあらわすこともある．さらに，そのデータをもとにして適切な決定を下したり，行動を取ったりするという判断材料としての側面に重点を置く場合も多い（同上）．



3つの情報

- 「伝達されるデータ」
 - フローとしての情報
- 「データ（の内容）」
 - 資源としての情報
- （注釈の）「判断材料としての側面に重点を置く」
 - 不確実性への対処手段としての情報



不確実性の対処手段

- 情報の経済学
 - 不確実性によって生じる問題(e.g. 大学に行く際に傘をもっていくか?)を緩和する役割に注目
 - この講義で考察する情報



資源としての情報

- 情動的資源
 - 「企業は、ヒト・モノ・カネ・情報からなる」
 - 企業からヒトとモノとカネを取り除いた残りが情動的資源
 - 目に見えないモノの役割に注目
- 情報の経済理論
 - 経済財としての情報の特徴(e.g. 同時利用性など)に注目



フローとしての情報

- 情報理論
 - 情報の送り手と受け手の間の情報の流れに注目
 - 伝達される情報（データ）の圧縮技術や暗号化技術など今日の通信技術の基礎を構成する重要な理論



まとめ

- 「情報」の多様な意味
- 3つの代表的な立場
 - 不確実性への対処手段
 - 資源としての情報
 - フローとしての情報
- 不確実性とは？
 - 次回の講義への橋渡し